

目

次

歴史編下

例口
言絵

序章 光と水と緑かがやくわが郷土、穂高町 1

- 四 町づくり三〇年 36
- 1 新穂高町発足当時の課題(36)
 - 2 新産業都市指定と町づくり(37)
 - 3 穂高町総合計画(38)
 - 4 伸びる財政(44)
 - 5 穂高町の主な事業(45)
 - 6 戸口の推移(50)

第一章 政治・戸口

9

第二節 穂高町の治安・国防

54

- 一 警察 54
- 1 警察制度の変遷(54)
 - 2 戦後の犯罪発生状況(58)

第一節 穂高町の沿革

11

- 二 穂高町の明治維新 11
- 1 松本藩・筑摩県時代(11)
 - 2 長野県への併合以後(13)

二 一町三か村時代

19

- 三 一町三か村時代 19
- 1 明治期の村政(19)
 - 2 明治期の戸口(22)
 - 3 東穂高村の町制施行(23)
 - 4 町・村会のはたらき(24)

- 5 村費と税金(25)
- 6 大正・昭和期の戸口(27)

三 新穂高町の誕生

31

- 第三節 自治活動 89
- 1 明治前期の兵事(89)
 - 2 明治後期の兵事(90)
 - 3 大正期の兵事(93)
 - 4 昭和前期の兵事(96)
 - 5 戦後の動向(100)

- 1 合併の経過(31)
- 2 合併時における穂高町の概況(33)
- 3 歴代町村長・議會議長(35)

- 一 区の自治組織 102

102

第四節 自由民権運動	二 各種団体	105
一 民権思想の素地		111
二 燐匪社の設立		114
三 国会開設の請願運動		116
四 その後の民権運動		118
第五節 穂高町の移民		121
一 明治・大正期の移民		121
2 町出身の移民者たち(121)	1	121
3 研成義塾の塾生たち	2	121
の移民(124)	3	121
二 昭和期の移民		129
1 満州開拓移民(130)	1	129
2 滿蒙開拓青少年義勇軍(131)	2	129
3 終戦による解団と終末(133)	3	129
第二章 産業と経済		135
第一節 農業		137
一 農地の開拓と土地制度		137
1 戰前の開拓と水利(137)	1	137
2 戰後の開拓事業(140)	2	137
3 土地制度の移り変わり(148)	3	137
二 近代農業の変遷		153
第三節 水産業		240
一 水産の変遷		240
近代以前の水産(240)	1	240
近代以降の水産(240)	2	240
現代の内水	3	240
第三章 林業		227
第一節 林業		227
一 穂高町の林業の変遷		227
1 明治期の林業(227)	1	227
2 大正期の林業(229)	2	227
3 昭和期の林業(230)	3	227
二 穂高町の国有林		232
三 穂高町の公有林		234
四 穂高町の私有林		237
五 林業の課題と今後の方向		238
第四章 農業経営		220
第一節 農業経営		220
和初期から戦時中までの畜産(215)	1	220
4 戰後の畜産(216)	2	220
昭和初期から戦時中までの畜産(214)	3	220
4 戰後の畜産(215)	4	220
5 難しい畜産を支える人々(218)	5	220
二 農業経営の課題と穂高町農業生産組合		220
第三章 畜産		192
第一節 畜産		192
1 戰前の養蚕業(192)	1	192
2 戰後の養蚕業(198)	2	192
3 蚕種製造(199)	3	192
4 天蚕・柞蚕(203)	4	192
二 養蚕業と天柞蚕業		192
1 戰前の養蚕業(192)	1	192
2 戰後の養蚕業(198)	2	192
3 特用作物(188)	3	192
4 畜産	4	192
第五節 農業		192
1 稲作(153)	1	192
2 畑作(161)	2	192
3 穂高町のわさび(168)	3	192
4 果樹(186)	4	192
5 畜産	5	192

二 河川漁業と鮭	河川における漁業(241)	鮭と鱈(241)	241
三 北穂高の養鯉業	穂高町の養鯉業	かじかの里づくり	243
四 穂高町の養鱒業	246		
五 穂高町の養鱒業	249		
第六節 工業の発達	第四節 工業の発達	249	
一 戰前の工業	一 戰前の工業	246	
二 戰後の工業	二 戰後の工業	250	
1 太平洋戦争直後の工業	1 太平洋戦争直後の工業	254	
2 経済成長期の工業	2 経済成長期の工業	250	
3 工業の現状	3 工業の現状	258	
4 穂高町工業の現状と課題	4 穂高町工業の現状と課題	257	
三 穂高町における発電事業	三 穂高町における発電事業	273	
1 中房川水系の発電事業	1 中房川水系の発電事業	273	
2 烏川水系の発電事業	2 烏川水系の発電事業	282	
第五節 商業	第五節 商業	285	
一 明治期の商業	一 明治期の商業	285	
2 街道と舟運で栄えた穂高町	1 街道と舟運で栄えた穂高町	285	
3 鉄道開通による商業の発達	2 鉄道開通による商業の発達	287	
二 大正期の商業	二 大正期の商業	287	
1 信濃鉄道開通による穂高町商業の発達	1 信濃鉄道開通による穂高町商業の発達	287	
2 各地区商店街の賑わい	2 各地区商店街の賑わい	291	
三 昭和期の商業	三 昭和期の商業	297	
第六節 金融業	一 明治期から大正期の金融	305	
一 昭和前期の金融	1 開産社の設立	305	
二 昭和初期の金融恐慌	2 銀行の設立	306	
3 戰時下的金融	3 信用組合	307	
4 郵便局	4 郵便局	308	
5 無尽及び質屋	5 無尽及び質屋	308	
三 戰後の金融	一 戰時の金融	310	
1 金融の混乱から安定へ	1 昭和初期の金融恐慌	310	
2 穂高町の金融機関	2 戰時下的金融	310	
(312)	(312)		
第七節 産業経済関係諸団体	一 農業協同組合	315	
一 農業協同組合	1 戰前の農業関係諸団体	315	
二 開拓農業協同組合	2 戰後の農業協同組合	315	
合(324)	合(324)	315	
二 開拓農業協同組合	1 開拓農事実行組合の成立	334	
三 養蚕組合	2 開拓農業協同組合の事業とあゆみ	334	
四 信州山葵農業協同組合	合(334)	333	
五 穂高わさび生産工業協同組合		345	

1 戰時下的商業(297) 2 戰後復興期の商業(299) 3 現在の商業(300) 4 今後の展望と課題(304)

六 森林組合	347
1 わが国の森林組合制度の推移(347)	2 穂高町森林組合(348)
七 漁業組合	349
1 長野県養殖漁業協同組合(349)	2 犀川漁業協同組合(350)
八 穂高町商工会	350
1 旧町村時代の商工会(350)	2 新穂高町誕生後の商工会(352)
第三章 教育・文化と宗教	355
第一節 学校教育	357
一 初等教育のあゆみ	357
1 学制発布と近代初等教育の発足(357)	2 初等教育の形成と確立(359)
3 大正・昭和前期の初等教育(364)	4 戰時下の初等教育(367)
5 戰後の初等教育(369)	二 各小学校の沿革
1 穂高小学校(373)	2 有明小学校(382)
3 西穂高小学校(388)	4 北穂高小学校(398)
三 統合小学校	404
二 第二節 社会教育	492
一 通俗教育から初期社会教育まで	492
四 幼年教育(保育所・幼稚園)	438
1 託児所による保育(438)	2 町立保育所(439)
3 私立穂高保育園(442)	4 穂高幼稚園(444)
五 新制中学校の沿革と歩み	447
1 六・三・三・四制と新制中学校の発足(447)	2 統合穂高中学校の発足と沿革(448)
3 中学校の教育内容(455)	八 高等学校の歩み
六 学校同和教育	458
七 学校保健	462
1 小学校の同和教育(459)	2 中学校の同和教育(461)
3 児童・生徒の疾病異常(468)	4 学童の体格(464)
5 学校保健と今後の課題(473)	五
八 高等学校の歩み	474
一 第一節	474
1 学校組合立東穂高農業補習学校(474)	2 学校組合立南安北部農学校(475)
3 穂高農業学校の昇格(476)	4 長野県穂高農業高等学校(480)
5 長野県穂高商業高等学校(481)	6 穂高商業高等学校(481)
二 第二節	485
九 青年教育の歩み	485
1 実業補習学校(485)	2 青年学校(486)
3 研成義塾(488)	四

一 通俗教育の伸長(492)	2 穂高町における通俗教育 (493)	1 安曇分教会(545)	2 穂高分教会(546)
二 戦後の社会教育.....		三 キリスト教.....	
1 各町村に公民館誕生(495)	2 町村公民館(496)	1 無教会のキリスト教信仰(547)	2 復活之キリスト (548)
穗高町公民館の組織と活動(499)		四 立正佼成会.....	
三 現在の社会教育.....		五 創価学会.....	
1 町民会館の完成(502)	2 社会教育の体制(505)	1 明治・大正期の衛生行政(555)	2 昭和期の衛生行政(557)
社会教育活動のあらまし(505)		三 伝染病の発生と対策.....	
4 社会同和教育(508)		1 天然痘(561)	2 赤痢(562)
		3 結核	4 流行性感冒(564)
第三節 文 化.....		四 成人病とその対策.....	
一 文 芸.....		1 脳血管疾患(566)	2 悪性新生物(566)
1 文学と評論(512)	2 現代詩(515)	3 心疾	5 心疾
二 美 術.....		五 町民の健康を守る保健センター.....	
1 日本書と洋画(525)	2 彫刻と工芸(530)	1 信宗妙教寺(541)	2 龍尚山妙法寺(543)
三 演劇・映画.....		六 環境衛生.....	
1 演劇活動(534)	2 演芸場・劇場(536)	1 脳血管疾患(568)	2 悪性新生物(568)
四 サークル活動.....		3 心疾	5 心疾
第四節 宗 教.....		五 町民の健康を守る保健センター.....	
1 信宗妙教寺(541)	2 龍尚山妙法寺(543)	1 信宗妙教寺(569)	2 龍尚山妙法寺(568)
一日 蓮 宗.....		六 環境衛生.....	
1 信宗妙教寺(541)	2 龍尚山妙法寺(543)	1 脳血管疾患(568)	2 悪性新生物(568)
二 天 理 教.....		3 心疾	5 心疾

第二節 社会福祉 一 福祉行政の沿革 1 明治から太平洋戦争までの社会福祉(587) 2 戦後の社会福祉(588) 第三節 社会保障 一 社会保障制度のあゆみ 二 穂高町の社会保障 1 穂高町国民健康保険(606) 2 穂高町国民年金(610)	一 町部とその周辺の観光 穂高神社(642) 御船会館(643) 碓山美術館(644) 井口喜源治記念館(644) 松沢求策の生家と顯彰碑(646) 二 わさび畑とその周辺の観光 大王わさび農場(646) 「早春賦」歌碑(647) 等々力家と東光寺(647) 相馬愛藏の生家(648) 三 穂高町温泉郷とその周辺の観光 有明山神社・正福寺不動堂(649) 松尾寺薬師堂(650) 郷土資料館(651) 鐘の鳴る丘集会所(651) 安養山青原寺(651) 栗尾山満願寺(651) 天蚕センター(652) 重要文化財曾根原家(652) 駅舎の美術館(653)	一 常念いこいの広場 (637) 2 スポーツ施設(638) 3 リゾート計画(639) 第二節 平地における観光 一 町部とその周辺の観光 穂高神社(642) 御船会館(643) 碓山美術館(644) 井口喜源治記念館(644) 松沢求策の生家と顯彰碑(646) 二 わさび畑とその周辺の観光 大王わさび農場(646) 「早春賦」歌碑(647) 等々力家と東光寺(647) 相馬愛藏の生家(648) 三 穂高町温泉郷とその周辺の観光 有明山神社・正福寺不動堂(649) 松尾寺薬師堂(650) 郷土資料館(651) 鐘の鳴る丘集会所(651) 安養山青原寺(651) 栗尾山満願寺(651) 天蚕センター(652) 重要文化財曾根原家(652) 駅舎の美術館(653)
第五章 観光 第一節 山地における観光 一 近代登山の発達 1 山岳(615) 2 山小屋(620) 3 山案内人(622)	一 その他の観光 道祖神のふるさと(653) 花の工場アルプガーデン(655) 各種のイベント(655)	一 上水道(569) 2 し尿処理(576) 3 ごみ処理(580) 4 生活雑排水処理(583) 5 穂高町墓地公園(585)
第六章 交通・通信 第一節 交通 一 中房谷の開発 1 温泉(623) 2 険しい中房線の道路開発(625)	一 その他の観光 道祖神のふるさと(653) 花の工場アルプガーデン(655) 各種のイベント(655)	一 常念いこいの広場 (637) 2 スポーツ施設(638) 3 リゾート計画(639)
第一節 交通 一 中房谷の開発 1 温泉(623) 2 険しい中房線の道路開発(625)	一 その他の観光 道祖神のふるさと(653) 花の工場アルプガーデン(655) 各種のイベント(655)	一 常念いこいの広場 (637) 2 スポーツ施設(638) 3 リゾート計画(639)

一 道路の進展	1 明治期の穂高の道(661)	2 大正期の道路改修(670)	661	
	3 昭和期の道路事業(672)			
二 交通機関の発達	1 舟運と渡し(683)	2 諸車の利用と変遷(685)	3 鉄道交通(703)	683
第三節 通信	1 郵便	2 電報・電話	3 有線放送電話	717
	1 郵便制度の発達(717)	2 穂高町の郵便局(721)		717
	2 電報・電話	1 電報(728)	2 電話(729)	728
第四節 文部・教育	1 設立の経過と歩み(731)	2 現況と課題(734)		731
	歴史年表			736
	執筆分担			757
	あとがき			759
	編纂委員名簿			761